

2015年5月25日
株式会社東陽テクニカ

**100 ギガビットイーサネット対応パケット解析装置「Synesis」を自社開発・発売
～フルレートパケットキャプチャに成功 “Interop Tokyo 2015”に出展～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、IP通信回線からパケットをキャプチャ※¹して、高速でディスクデバイスにストリーミング※²できるアプリケーションを自社開発し、100 ギガビットイーサネットのパケットをフルレートで連続キャプチャする実験に成功しました。

また、今回開発したアプリケーションを搭載したパケット解析装置「Synesis」を製品化し、2015年6月より発売いたします。通信事業者及びサービスプロバイダーは「Synesis」を使用することにより、100 ギガビットイーサネット回線における通信障害の解明に要する時間を短縮し、通信サービスの品質を向上することができます。

※1 IP通信回線からデータを収集する操作

※2 装置のオンボードメモリからディスクデバイスにデータを転送する操作

【開発背景】

100 ギガビットイーサネットは、一般家庭向けネット回線より1,000倍速くデータを送信できる高速通信規格です。スマートフォンなどモバイル端末の普及に加えIoT※³サービスが本格化することから、通信事業者及びサービスプロバイダーでは大容量データを高速伝送できる100ギガビットイーサネット回線の導入を加速しています。通信事業者・サービスプロバイダーは、通信障害の対応に備え全てのパケットをキャプチャできるパケット解析装置を配備しています。しかし、従来のパケット解析装置は40ギガビットの処理速度の性能であるため、高速伝送に備え100ギガビットでも全てのパケットをキャプチャできるパケット解析装置の開発が必要とされています。

※3 様々なモノをインターネットに接続する技術

【開発したアプリケーションの特長】

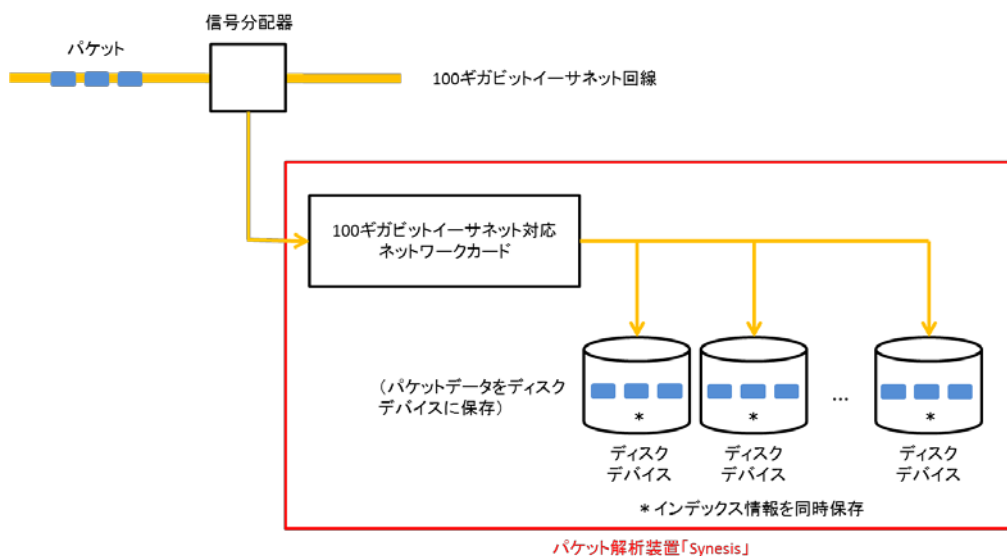
一般的に100ギガビットに対応したパケット装置の製品開発においては、オンボードメモリの容量以上のパケットをディスクデバイスに保存しようとするパケットの一部が欠落するという課題と、膨大な数の保存されたパケットから解析に必要なパケットのみを抽出するのに時間を要するという二つの大きな課題があり、世の中で製品化に至っていませんでした。

こうした状況を踏まえ、通信サービス網の解析・監視システムを通信業界に長年提供してきた東陽テクニカは、

100 ギガビットイーサネット対応のネットワークインターフェイスカードでキャプチャしたパケットを高速でディスクデバイスにストリーミングし、直接保存できるプログラムを実装したアプリケーションを開発いたしました。

この開発により、理論上無制限にパケットを欠落なくディスクデバイスに直接保存できるほか、ディスクデバイスへの保存と同時にディスクデバイスからパケットを引き出しリアルタイムに解析することができます。また、パケットの保存時に IP アドレスなどから生成されるインデックス情報も同時に保存することによって、そのインデックス情報を基に膨大な数のパケットから目的のパケットのみを短時間で抽出し解析することができます。

<開発したアプリケーションの動作概念図>



【製品化した「Synesis」の特長】

開発したアプリケーションを汎用サーバに搭載した据え置き型モデルを製品化し、2015年6月より発売いたします。据え置き型モデルは、2つの100ギガイーサネット回線を同時にパケットキャプチャすることができ、最大50テラバイトのパケットデータを保存することができます。

「Synesis」100ギガビットイーサネット対応据え置き型モデル

- ・ 予定価格：3,000万円（税別）
- ・ 販売計画：年間売り上げ3億円
- ・ 発売開始：2015年6月



製品イメージ

【Interop Tokyo 2015 に出展】

東陽テクニカでは、2015年6月10日から千葉県幕張メッセにて開催される最先端 ICT テクノロジーイベント “Interop Tokyo 2015” に、「Synesis」を 5H21 ブースで出展いたします。

東陽テクニカは、今後も通信サービスを提供する通信事業者やサービスプロバイダー及び通信機器製造業者向けネットワーク解析・監視システムの提供を通じ、通信サービスの高速化と品質の向上に貢献してまいります。

＜株式会社東陽テクニカについて＞

東陽テクニカは、昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、400 名を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも「“はかる”技術で未来を創る」のスロガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システム営業部
TEL：03-3245-1250（直通） E-mail：synesis-sales@toyo.co.jp
Synesis サイト：<http://www.toyo.co.jp/ict/synesis>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。